

# 中山間・離島地域の限界集落における地域福祉実践

～社協サイトからの支援方法論の開発・共有化に向けて～

1. 主旨： 中国地方には、全国で最も多く全国の1/3近くの限界集落が存在している。限界集落住民の生活機能の低下は日々深刻化しており、その支援を、誰が、どのように担うかの対策検討は喫緊の課題となっている。さらには、従来の公共事業型／産業誘致型過疎対策視点の問題意識や解決アプローチではなく、限界集落に暮らす人々の日常のかつ身近な生活問題に着目した、生活支援機能の再構築を模索していく必要がある。市町村社協は、広く住民の生活課題を取り上げ、地域福祉を推進する使命を持ち、かつ全ての市町村に普遍的に存在し、専門職員が配置されている機関であり、これらの集落の抱える諸課題にどのように対応していくかが問われている。これらを踏まえ、本セミナーは、単に活発な集落の取り組み事例(結果・成果)の紹介にとどまらず、先駆的社協における限界集落支援の実践(社協の支援過程)を方法論的に学び、共有化することを目的として開催する。
2. 主催： 日本地域福祉学会中国地方部会、(福)鳥取県社会福祉協議会、(福)島根県社会福祉協議会、(福)岡山県社会福祉協議会、(福)広島県社会福祉協議会、(福)山口県社会福祉協議会
3. 後援： 日本地域福祉学会、岡山県市町村社協地域福祉研究会、(NPO 法人) 移動ネットおかやま
4. 日時： 2010年11月6日(土) 12:30～16:30
5. 会場： 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館(きらめきプラザ) 401研修室  
〒700-0807 岡山市南方2-13-1 ※岡山駅より徒歩約10分。 ※駐車場に余裕がないので会場への車でのお越しはお控えください。
6. 対象： 日本地域福祉学会会員、社会福祉協議会役職員、その他関心のある方
7. 定員： 100名
8. 参加費： 無料
9. 内容：

	12:00	30	40	14:40	14:50	16:00	16:30
11月6日(土)	受付	開会	実践報告およびコメント	休憩	分散協議	報告・まとめ	閉会

①社協サイトからの限界集落支援実践報告 ～実践知の共有化に向けて～ (各15分)

- (1)鳥取県日南町社会福祉協議会の取り組み 報告者：鳥取大学地域学部講師 竹川俊夫氏
- (2)島根県海士町社会福祉協議会の取り組み 報告者：海士町社会福祉協議会事務局長 片桐一彦氏
- (3)岡山県笠岡市社会福祉協議会の取り組み 報告者：笠岡市社会福祉協議会地域福祉課長 安藤和哉氏
- (5)広島県庄原市社会福祉協議会の取り組み 報告者：庄原市社会福祉協議会専門員 坂井浩二氏
- (4)山口県(調整中)

実践報告に対するコメント(各20分)

- (1)コミュニティ・アセスメントの立場から 広島国際大学医療福祉学部教授 岡崎仁史氏
- (2)人文地理学／集落構造研究の立場から 島根大学教育学部准教授 作野広和氏

②分散協議

参加市町村社協の限界集落状況および社協からのアプローチの現状報告および意見交換

③報告・まとめ

分散会報告を受け、方法論上の共有点の確認および課題・困難点の整理。

※セミナー終了後、岡山駅周辺で情報交換会を開催予定です。(有料。任意参加。)

10. 参加申込： 資料印刷の都合上、10月23日(土)までに、下記申込用紙にて郵送・FAXで申し込むか、下記申込事項をEメールに記載して送信してください。(照会先も同じ)

駒澤大学文学部社会学科 川上富雄 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

Tel.03-3418-9296 Fax.03-3418-9619 Email: tomio@komazawa-u.ac.jp

-----申込書(FAXの場合は切り取らずこのまま送付下さい。FAX03-3418-9619)-----

ふりがな 氏名			
所属先名		職名	
所属先連絡先	〒		
	TEL:	FAX:	Eメール

※参加申込に際して把握しました個人情報につきましては、本セミナー以外には使用いたしません。